

白門みえ

大正時代の母校

中央大学学員会
三重支部ホームページ
<http://www.hakumon-mie.jp>

支部長挨拶

昭和三六年法卒

支部長 小川 益司

中央大学学員会三重支部が設立されたのは昭和24年(1949年)です。この設立に学生であつた田村憲司(前支部長)さんが参加されていて、「人數は6名程度であった」と回顧しています。それが、今や200名を超える三重支部に発展しています。

母校中央大学は明治18年に英吉利法律学校として創設されました。

一昨年11月「創立125周年記念式典」が多摩校舎9号館であり、大学の名称の由来であるミドルテンプルの校長、英國大使、国会議員、支部・団体代表、高額寄付者等全国から160人が参列され、莊厳さのなかにも盛大に開催され、支部代表として私も招待されました。

この125周年記念募金に当たっては厳しい経済情勢のなか三重支部の学員員から多額のご寄付をいただきまして、昨年3月の東日本大震災で被災された学生の経済支援についてもご協力していただきありがとうございました。

昨年はこの大震災への対応で大学からの「学術講演会」も「ホームカミングデー」も中止になりましたが、今年は商学部教授福田公正をお招きして「日本で最も豊かな県とは」という演題で講演していただきます。ホームカミングデーも10月28日に再開されます。

この度、学員会三重支部の幹事長を仰せつかりました。まだ若輩者ですし、ご迷惑をお掛けしないかと躊躇しましたが、これまでお世話になつた母校ならびに諸先輩方への恩返しが少しでも出来ればと思い、引き受けさせていただきました。微力ながら全力を尽くしますので、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、私は昭和52年に中央大学に入学いたしまして、1年間は駿河台キャンパス、2年生からは多摩キャンパスに移りましたので、両キャンパスで学んだ数少ない卒業生の一人です。当時はまだ左翼のヘルメット集団が大学構内にいて、試験になると彼らが騒ぎ出

しました。今年も伊勢路を舞台にした第44回全日本大学駅伝大会が11月4日(日曜日)実施されます。毎年父母会絡会三重県支部や近隣県の父母会が中心となって熱烈応援をしています。

昨年は最終区間で折れたものの5位入賞で、今年はシード校として出場します。過去の戦歴からして優勝への期待は望み薄でしょうが、学員の応援をお願いします。

今後とも大学・学員と連携を密にして、青春の一時期を栄誉ある中央大学で学び、価値観を共有したという縛をさらに強めていきたい。

今後とも学員皆さんの一層のご支援をお願いすると共にご活躍をご健康をお祈り申し上げます。

幹事長に選任されて

幹事長 内藤 誠

昭和五六年商卒

最後になりましたが、中央大学ならびに学員の皆様のご活躍、ご健勝をお祈りいたします。

最後になりましたが、中央大学ならびに学員の皆様の益々のご活躍、ご健勝をお祈りいたします。

最後になりましたが、中央大学ならびに学員の皆様の益々のご活躍、ご健勝をお祈りいたしました。

三重県庁に入りますと、三重県の合格でき、今日の生活となりました。

三重県庁に入りますと、三重県の大先輩であります羽場先輩、故阪先輩、そして現在の中央大学学員会三重支部長の小川先輩はじめ諸先輩方のご尽力により中央大学出身者による「三重県

小川支部長から寄稿を依頼され、引

受けたもののまだ時間があるとお客様の中にも同窓の方が沢山お見えです、これからも母校の繋がりを通じて、人間関係の輪を広げらればと思つてまた感概深いものがありました。

私は現在、百五銀行に勤務しておりますが、当行には約80名の同窓の行員がおります。学閥がある訳ではないですが、同窓の先輩や後輩と顔を合わせると心強いものがあります。また、お客様の中にも同窓の方が沢山お見えです、これからも母校の繋がりを通じて、人間関係の輪を広げらればと思つてまた感概深いものがありました。

私は昭和52年に中央大学に入

学いたしましたが、残念ながら遊び人の

事になり、久々に多摩キャンパスを訪

れました。多摩キャンパスが彼らの手で落書きや張

り紙で汚され、非常に残念だった事を思い出します。

3年前に息子も中央大学に入学する

事になりましたが、今は学生運動も無く、綺麗に化粧直しされた校舎は卒業後30年

近い歳月を忘れさせてくれました。そ

して、元気な若者で溢れるキャンパス

を見て、母校の繁栄に喜びを感じ、そ

の学員と歓談もできて有意義な一日で

した。

3年前に息子も中央大学に入学する

事になりましたが、今は学生運動も無く、綺麗に化粧直しされた校舎は卒業後30年</p

